

令和2(2020)年度第1回 大田原市介護保険運営協議会 【会議録】

- 1 日 時 令和2(2020)年7月9日(木)午後1時30分～3時25分
- 2 場 所 大田原市役所本庁舎1階102会議室
- 3 出席委員 16名(磯政裕会長、会田真由美職務代理者、植木重治委員、稲村隆夫委員、高崎清一委員、渡部貢委員、川上千代子委員、松本美代子委員、阿久津雅章委員、根本修委員、安藤美代子委員、高橋順一委員、小野田公委員、増山茂樹委員、伊藤都委員、高安喜久次委員)
- 4 欠席委員 2名(八木良委員、川上清委員)
- 5 事務局 村越保健福祉部長、吉成高齢者幸福課長、遠山高齡支援係長、鈴木介護管理係長、岡介護サービス係長、小林地域支援係長、辺見主査、荒井主査、市川主事

6 内 容

- (1) 開会・進行 吉成高齢者幸福課長
- (2) 委員の委嘱について
- ①委員の委嘱について説明
- ②委嘱状の交付 代表で植木重治委員に対し、村越保健福祉部長から委嘱状が交付された。(他の委員については自席に配布)
- (3) あいさつ 村越保健福祉部長
- (4) 会長選任・職務代理者の指名
「事務局一任」の声があり、事務局案として提示した「磯政裕委員」に全会一致で決定した。職務代理者として会田真由美委員が磯会長から指名された。
- (5) 会議録署名人の指名
磯会長から松本美代子委員、阿久津雅章委員が指名された。
- (6) 議 事
- ①令和元(2019)年度介護保険特別会計について
- ・令和元(2019)年度大田原市介護保険特別会計決算見込みについて
 - ・第1号被保険者保険料の充当状況について

【会議資料5～7ページ】

<質疑なし>

②令和元(2019)年度介護保険事業の実施状況について

- ・介護保険サービス給付実績 【会議資料8ページ】
- ・介護予防・日常生活支援総合事業サービス給付実績 【会議資料9ページ】
- ・介護認定状況について 【会議資料10ページ】

- ・ ささえ愛おおたわら助け合い事業の実施状況【会議資料 11～15 ページ】
- ・ 一般介護予防事業等の実施状況について 会議資料 16～18 ページ】

<質 疑>

【ささえ愛おおたわら助け合い事業の実施状況について 会議資料 11～15 ページ】

(渡部委員)

対象となる高齢者数に対して、何割くらいの人に参加しているのか。

(事務局)

傾向を見ると、同じ人がいろいろな活動に参加している。消極的な方はどの活動にも参加していない傾向で、そういった人にまずは1歩外に出ていただきどこか1つでも活動に参加していただくことが必要と考えている。

(渡部委員)

行事が偏っていないか、移動手段が無くて通えないのかなど、参加者が偏る原因を検証し、より多くの人に参加できる形にできるとよいと思った。

(事務局)

具体的な割合や実質的に参加している人の人数は把握しきれていない。対象は全高齢者で、地区ごとの高齢者数は把握している。その中で実質的に参加している人数を把握し、地区ごとの傾向なども踏まえながらフォローしていきたい。

【ささえ愛サロン事業について 会議資料 15 ページ】

(根本委員)

補助の概要を教えてください。また、補助金総額と予算額についても教えてください。

(事務局)

高齢者中心の通いの場を運営する団体への補助金で、月2回以上、1回あたり5人以上の高齢者が参加する活動が対象。特定の参加者による特定の活動に限定しないことが条件。補助金は事業実施に必要な経費を補助する運営費補助金と、事業を開始するために必要な経費を補助する開設準備補助金があり、それぞれ上限を5万円としている。

予算額については、継続の16団体が運営費補助金を80万円、新規に15団体が運営費補助金と開設準備費補助金を150万円の、合計230万円の予算をとっている。現在の申請状況は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、継続が15団体、新規が2団体となっている。

【介護予防・日常生活支援総合事業サービス給付実績について 会議資料 9 ページ】

(安藤委員)

12月に1事業所が廃止となったと説明があったが、廃止の理由は何か。

(事務局)

当該事業所は緩和型の通所型サービスAのみを実施していた事業所で、利用者数が想定より伸びなかった等により採算が取れず、事業の継続が難しくなったため。

【高齢者ほほえみセンターについて 会議資料11ページ】

(増山委員)

実施状況について寺町ほほえみセンターの活動日数が235日となっているが、週4回の開催では235日に満たない(4回×52週=208日)が、どのように日数を数えているのか。

(事務局)

週4回の定期的な開催日以外にも活動を行っており、その日数も含んでいる。

③大田原市あんしんプラン第7期計画の進捗状況について

【会議資料19～31ページ】

<質 疑>

【給付適正化事業の実施について 会議資料30ページ】

(根本委員)

「介護給付適正化システムについて、十分な活用が図られているとは言えない状況であるので、積極的な活用を図る。」とあるが、具体的にどこに力をいれて適正化を図っていくのか。

(事務局)

現在は国保連合会でチェックがかかったものについて、事業所への通知、確認依頼までの実施となっており、市の職員がケアプランの中身を直接的にチェックできる体制までとれていないため、その様な点について力を入れていく必要がある。

④大田原市あんしんプラン第8期計画の策定について

- ・計画の策定について
- ・国の基本指針について
- ・計画策定に係る基礎調査について
- ・策定スケジュールについて

【会議資料32～34ページ】【参考資料】【集計結果報告書】

<質 疑>

【第8期計画の方針について】

(根本委員)

第8期計画の方向性として、例えば施設サービスから有料老人ホームにシフトする、予防支援に力を入れていく、といった具体的な内容を教えてほしい。

(事務局)

以前は特養等の入所系の施設を整備して待機者を減らす方向だったが、2040年に高齢者数のピークを迎え、それ以降は減少に転じるため、今度は特養に空きが出来ることになる。そのため国では在宅介護に力を入れる方向にシフトしてきている。

本市においては在宅介護にいち早く対応するために、通いを中心に訪問や宿泊サービスを柔軟に利用できる小規模多機能型居宅介護の整備に力を入れてきた。

介護予防についても、本市ではほほえみセンターを整備するなど力を入れてきた。

これらの考え方は第7期計画でも示しており、第8期計画においては、基本的には第7期計画の方針を引き継ぐ形を考えている。

【文書負担軽減策について 参考資料9ページ】

(根本委員)

「第8期計画において記載を充実する事項(案)」に、「文書負担軽減に向けた具体的な取組を記載」とあるが、保険者としてどこまで軽減することを考えているのか。

(事務局)

これは国が主導して行っている文書負担軽減策で、資料32ページの国の軽減策に則して行っていくことを考えている。保険者独自の変更を加えることは考えていない。

【会議について】

(増山委員)

会議時間について、事務局の説明の時間が長いと感じた。事前に説明の内容を事務局ですり合わせをするなどして、予定時間内に終わるようにしてほしい。

(7) その他

令和2年度第2回大田原市介護保険運営協議会は、令和2年10月末または11月頭に開催の予定。1月前を目途に開催通知を発送する。

(8) 閉会

以上